

【解答例】

問1

ア × イ ○ ウ × エ ○ オ ○

問2

エ

問3 (例)

- 燃料として薪をとってきていた (資源として活用の例)
- 茶碗などに漆を塗っていた (素材として活用の例)
- キノコや山菜を食べていた (食材として活用の例)

問4 (例)

江戸時代の「循環型社会」は「もったいない」のこころを大切にして、長く使えるものや捨てずに繰り返し使うなど、現代の「リデュース」や「リサイクル」に通じる行動が特徴である。

問5 (例)

「循環型社会」を実現するために、私ができることは「3R」といわれる行動を常に心がけて生活することである。

具体的には、本当に必要なものかどうかをよく考えて購入するとか、長く使えるものかどうかといった点を、ほんの少し意識して買い物をするなどである。これらの取り組みは、誰もが簡単にできることであり、中学生の私にも無理なくできる行動だと思う。最近ではスーパーやコンビニでも買い物袋が有料化されており、私もできるだけ買い物にはエコバックを持参するようにしている。

日本には昔から「もったいない」の精神が根づいている。たくさん使ったたくさん捨ててしまうことは「もったいない」ことだと思う。レジ袋の使用を減らすことなどの簡単な取り組みを、みんなが実践すれば、原料や廃棄にかかる費用などを節約になり、限られた資源を有効活用できる。このような小さな取り組みの積み重ねが「循環型社会」の実現につながると考える。(394字)